

「沖縄観光における県産酒類の需要に関する調査」 報告書

株式会社おきぎん経済研究所は、沖縄観光における県産酒類のブランド力や訴求力、価格感度などについてアンケート調査を実施し、その結果を「沖縄観光における県産酒類の需要に関する調査」(以下「本調査」)として取りまとめましたので発表します。

・要旨

1. 泡盛の認知度は 94.3%、オリオンビールは 96.9%と高く、主に観光時の現地のお店等で認知されている結果となった。一方、オリオンビール以外の沖縄県産ビール、沖縄県産ウイスキー、沖縄県産スピリッツの認知度は約 20~30%となった。
2. 県産酒類の飲食率については、泡盛は 55.7%、オリオンビールは 71.7%と半数以上が購入経験がある結果となった。一方、その他の県産酒類については、約 1~2 割とこちらも低い結果となった。
3. 満足度は泡盛 89.0%、オリオンビールは 93.9%と約 9 割が満足感を得ている。
4. リピート率は泡盛 52.1%、オリオンビール 69.9%となり、理由としては「沖縄らしいから」、「おいしいから」との回答が挙げられた。泡盛やオリオンビールについては、「有名だから」との回答も約 3 割挙げられたが、その他の県産酒類については、1 割程度にとどまっており、より認知度を高める取り組みが求められる。
5. 価格感度について、「高くなっても購入すると思う」との回答は泡盛が 69.8%、オリオンビールは 72.2%となり、値上げに対する一定の受容感が示された。
6. 県産酒類については、観光客による飲酒率、満足度、リピート率等から総じてみても一定の訴求力を有しており、今後の観光市場の拡大に伴う消費拡大が期待される。

<調査概要>

- ・調査方法:WEBアンケート調査
- ・調査実施日:2024年3月19日~20日
- ・調査対象者:20歳以上の国内在住者で、直近およそ5年以内の沖縄旅行経験者(帰省・仕事目的は除く)
- ・有効回答数:1,030名

(お問合せ先)

株式会社おきぎん経済研究所 (担当:比嘉、與那覇)

沖縄県那覇市牧志 1-3-45 牧志ビル 3 階

TEL:098-869-8711 HP: <https://www.okigin-ei.co.jp/>

本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に掲載された情報の使用による結果について、当社が責任を負うものではありません。無断での複製・転載・転送等をご遠慮ください。

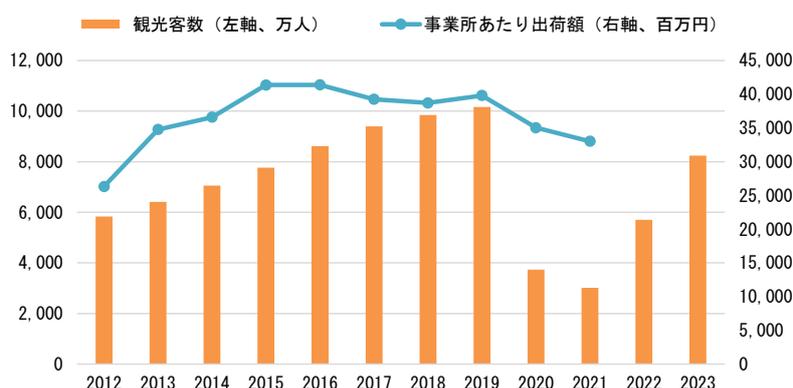
1. 調査背景

沖縄への入域観光客数は令和5年(暦年)で823万5,400人、コロナ禍前(2019年)の8割まで回復しており、令和6年においても回復基調が維持されるものと見込まれているところである。観光市場の好況による観光関連消費の拡大が期待される一方で、物価高騰による影響の懸念もあり、沖縄観光の高付加価値化が一層求められることとなる。

このような背景の下、外部環境の変化に大きく影響を受けているのが県産酒類関連産業である。進行する「アルコール離れ」に加え、コロナ禍による需要減、沖縄県産酒税の特例措置の段階的廃止など、多くの環境変化に対して厳しい状況に置かれている。

今後、期待される観光市場の回復に伴い、伝統や特色ある県産酒類の活用は貴重な観光資源として沖縄観光の高付加価値化に寄与するものと期待される。以上のことから、沖縄観光における県産酒類のブランド力や訴求力、価格感度などについて調査し今後の当該産業振興の一助としたい。

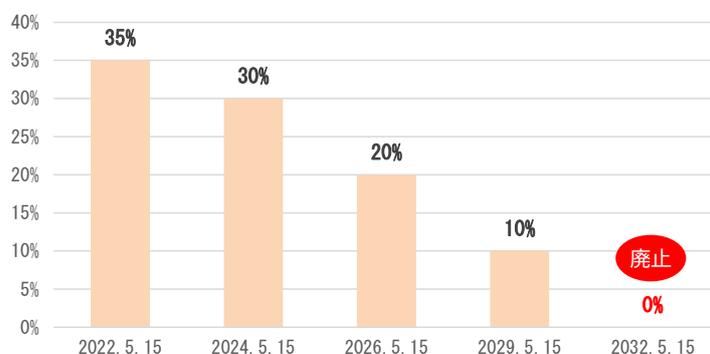
[観光客数と出荷額(蒸留酒・混成酒製造業)の動き]



※経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス」、経済産業省「経済構造実態調査」、沖縄県「入域観光客概況」のデータを基に作成

注)調査年によって集計範囲が異なるため、経年の単純比較ができないことに留意が必要。

[沖縄県産酒類に係る酒税の特例措置廃止に向けた軽減率の引下げ例]
泡盛(グループB:県内移出 200 kℓ超~1,300 kℓ以下)



※内閣府資料を基に作成

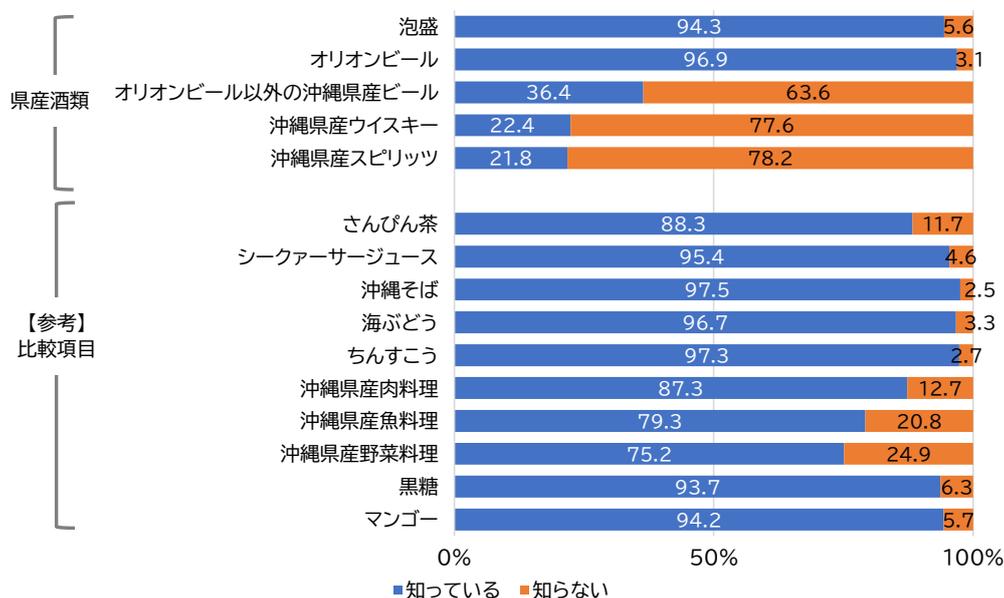
2. 認知度

本調査では、沖縄観光における“県産酒類”を中心に調査を実施した。「泡盛」のほか、ビールについては認知度が突出しているであろう「オリオンビール」と、「オリオンビール以外の沖縄県産ビール」を分けて項目設計した。その他、近年注目される「沖縄県産ウイスキー」、「沖縄県産スピリッツ」を含め 5 つの県産種類について調査項目として挙げた。なお、調査結果の比較対象として、酒類以外の県産飲食品を含め調査した結果を合わせて示すこととする。調査結果は以下の通り。

沖縄観光における県産酒類を含む食飲料品の認知度について調査した結果、各商品について「知っている」との回答率が最も高い項目は、「沖縄そば」(97.5%)で、次いで「ちんすこう」(97.3%)、「オリオンビール」(96.9%)となった。

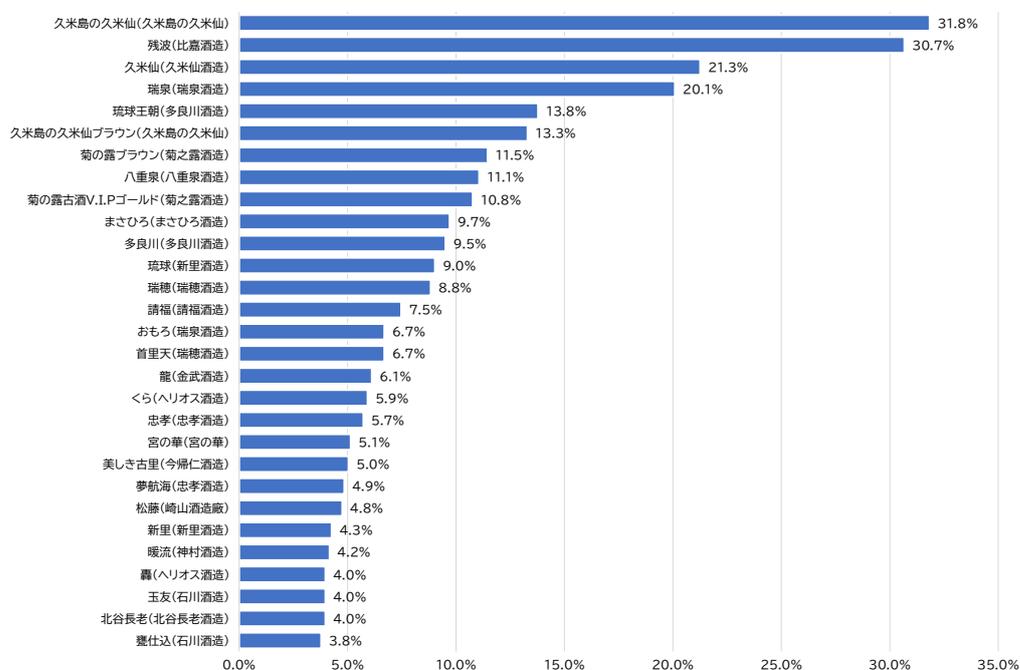
県内酒類では、オリオンビールに次いで「泡盛」が 94.3%、「オリオンビール以外の沖縄県産ビール」が 36.4%、「沖縄県産ウイスキー」が 22.4%、「沖縄県産スピリッツ」が 21.8%となった。「泡盛」と「オリオンビール」は9割強の認知度が高い結果となったが、他3種については2～3割の認知度と低い結果となった。

[認知度(n=1,030)]



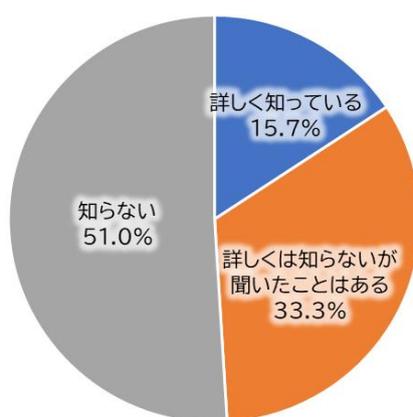
知っている泡盛について複数選択回答で、聞いたところ多い順に「久米島の久米仙」が31.8%、「残波」が30.7%、「久米仙」が21.3%となった。

[知っている泡盛(複数回答)(n=1,030)]



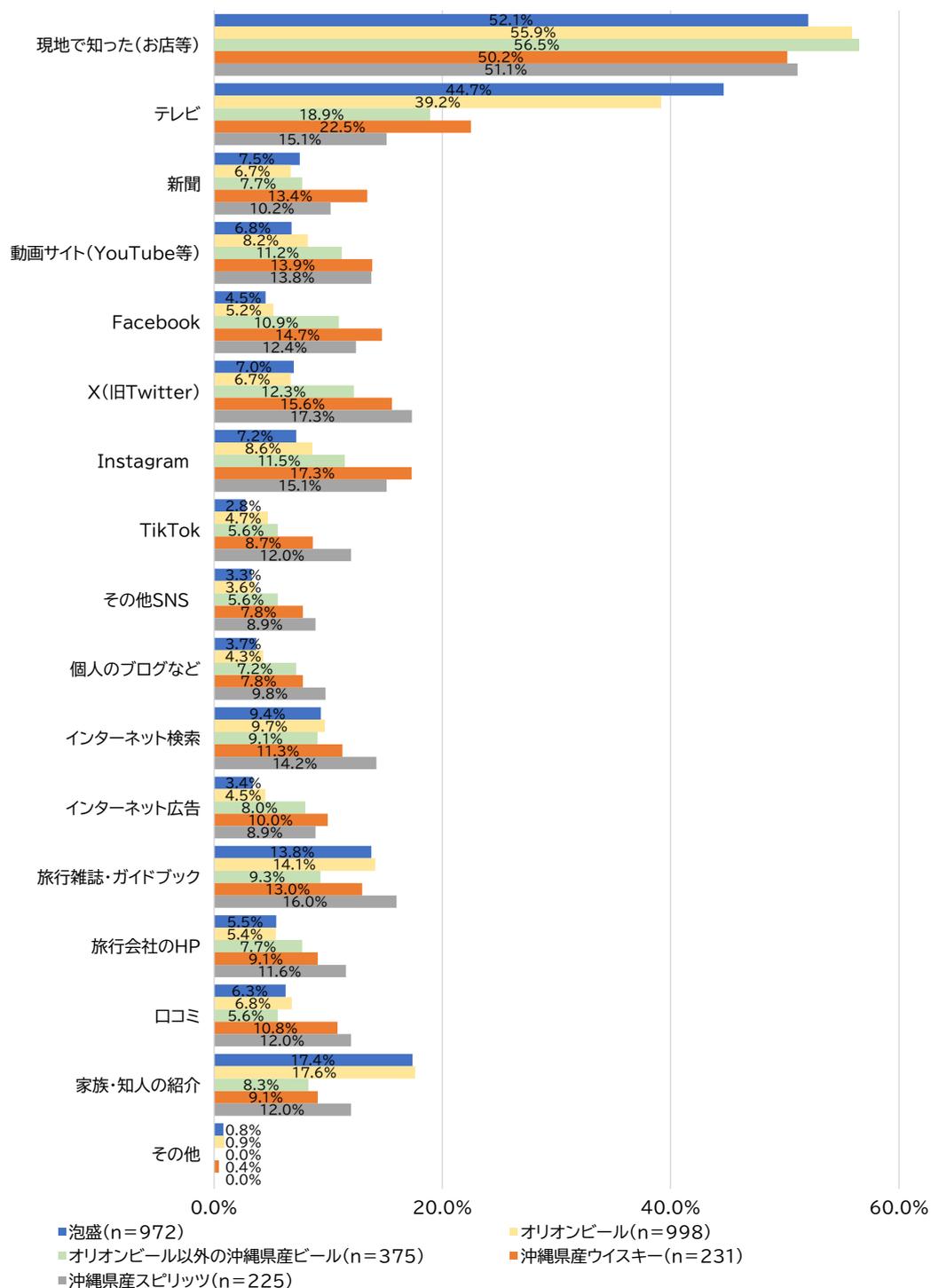
“泡盛について、新酒・古酒の違いをご存じですか”の設問では「詳しく知っている」が15.7%、「詳しくは知らないが聞いたことはある」が33.3%、「知らない」が51.0%となった。

[新酒・古酒について知っているか(n=1,030)]



見聞きした情報源として最も多かった回答は「現地で知った(お店等)」であった。次いで、「テレビ」、「家族・知人の紹介」から情報を得ている結果となった。

[見聞きした情報源(複数回答)]



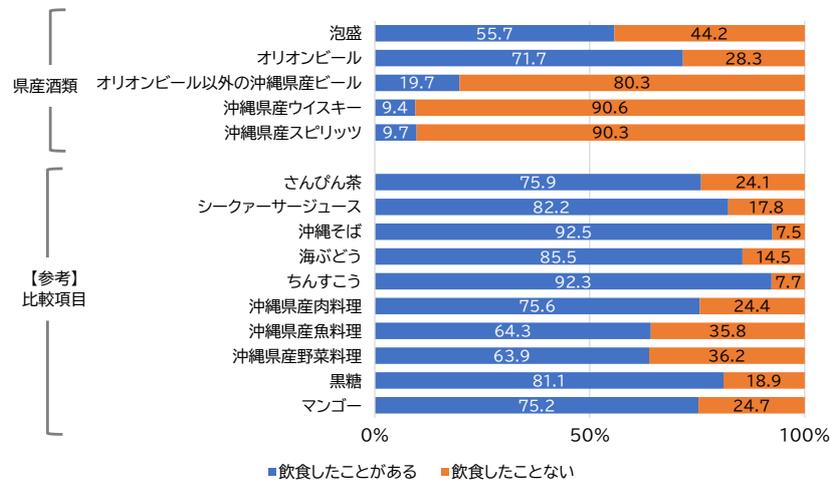
3. 飲食・購入経験

「飲食したことがある」との回答率が最も高い項目は、「沖縄そば」(92.5%)で、次いで「ちんすこう」(92.3%)、「海ぶどう」(85.5%)となった。

県産酒類では、「オリオンビール」が 71.7%、「泡盛」が 55.7%と半数以上が沖縄旅行の際に飲んでいることが分かった。

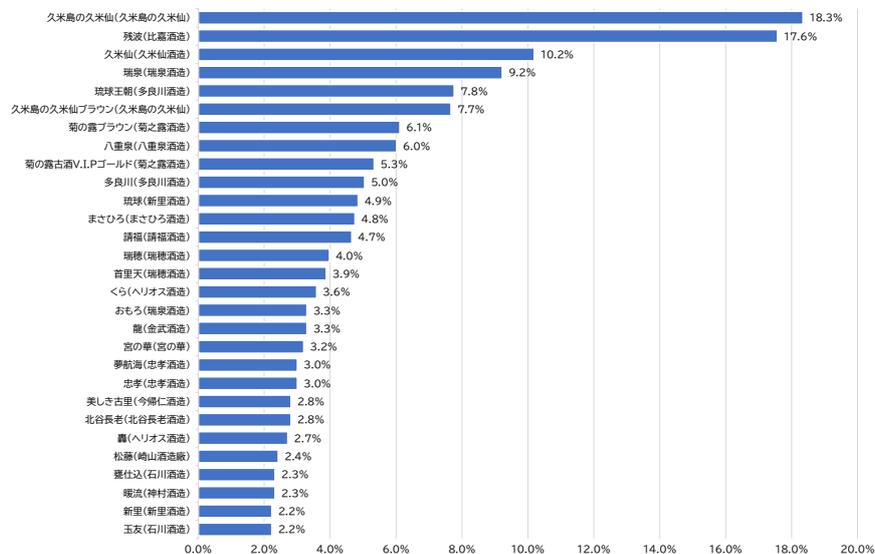
しかし、「オリオンビール以外の沖縄県産ビール」、「沖縄県産ウイスキー」、「沖縄県産スピリッツ」は 1~2 割と低い結果となった。

[購入率(n=1,030)]



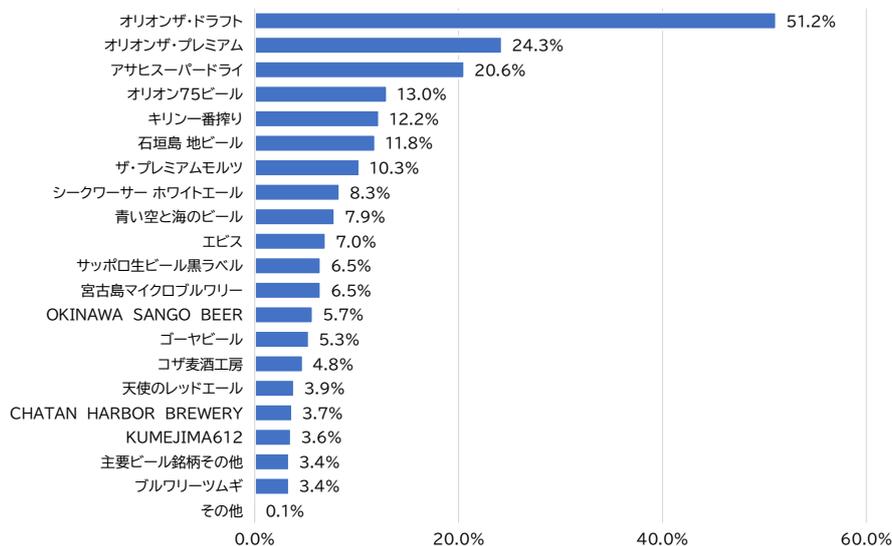
沖縄旅行の際に、現地で飲んだことのある泡盛では、「久米島の久米仙」が 18.3%、「残波」が 17.6%、「久米仙」が 10.2%となった。

[沖縄旅行で現地で飲んだことがある泡盛(複数回答)(n=1,030)]



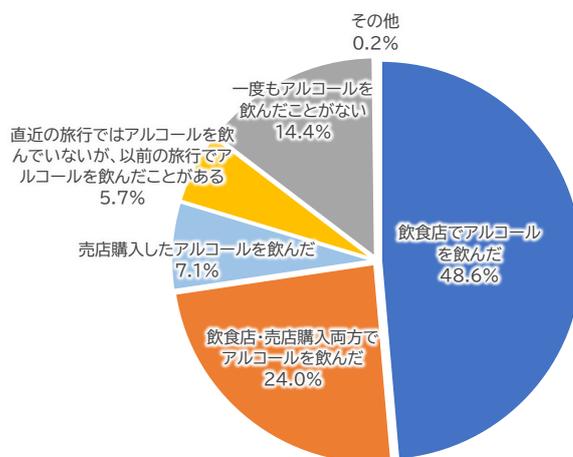
沖縄旅行の際に、現地で飲んだことのあるビールでは、「オリオンザ・ドラフト」が 51.2%、「オリオンザ・プレミアム」が 24.3%、「アサヒスーパードライ」が 20.6%となった。

〔沖縄旅行で現地で飲んだことがあるビール(複数回答)(n=1,030)〕



これまでの、沖縄旅行での飲酒経験の主な場所では「飲食店でアルコールを飲んだ」が 48.6%、「飲食店・売店購入両方でアルコールを飲んだ」が 24.0%、「売店購入したアルコールを飲んだ」が 7.1%、「直近の旅行ではアルコールを飲んでいないが、以前の旅行でアルコールを飲んだことがある」が 5.7%、「一度もアルコールを飲んだことがない」が 14.4 となった。

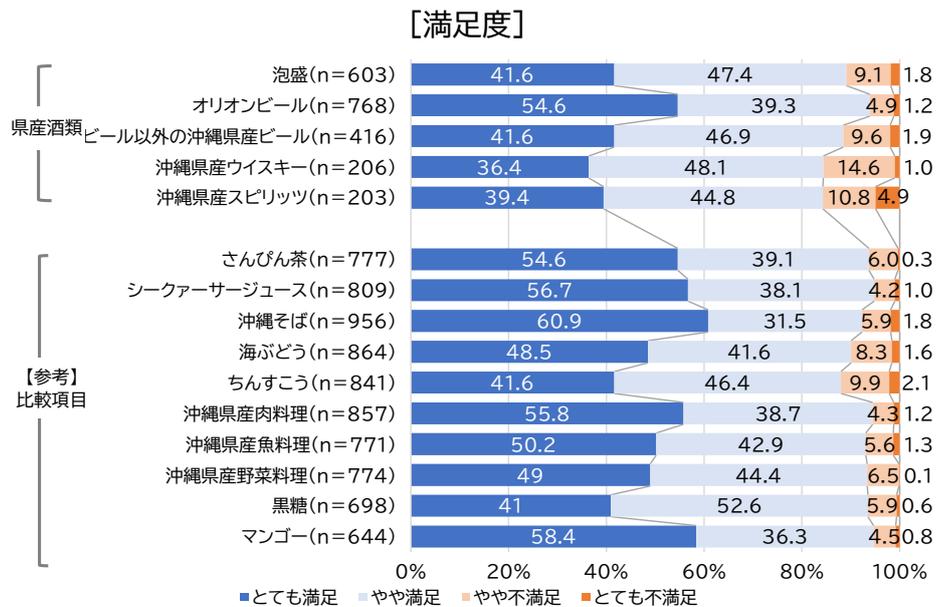
〔飲酒経験の場所(n=1,030)〕



4. 満足度

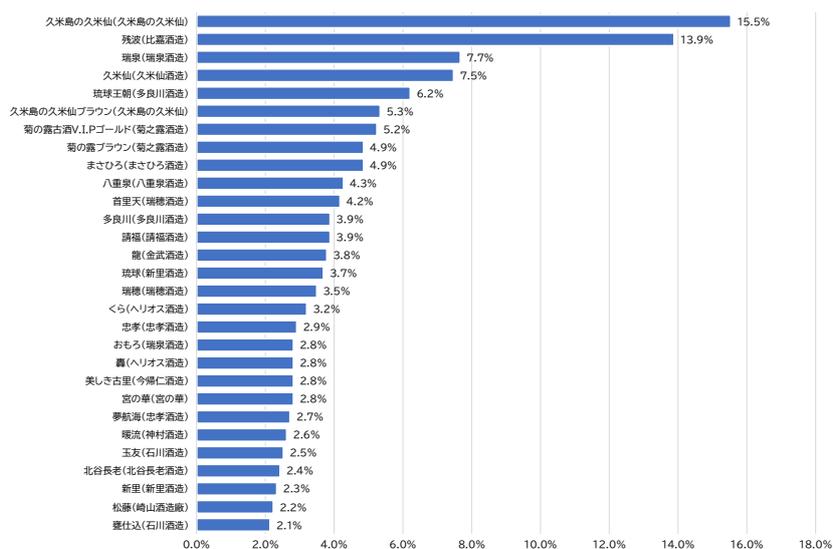
満足(とても満足+やや満足)との回答率が最も高い項目は、「シーカーサーージュース」(94.8%)、次いで「マンゴー」(94.7%)、「沖縄県産肉料理」(94.5%)となった。

県産酒類ではオリオンビールは 93.9%、泡盛 89.0%、ビール以外の沖縄県産ビール 88.5%、沖縄県産ウイスキー84.5%、沖縄県産スピリッツ 84.2%となった。



好きな泡盛では「久米島の久米仙」が 15.5%、「残波」が 13.9%、「瑞泉」が 7.7%となった。

[好きな泡盛(複数回答)(n=1,030)]

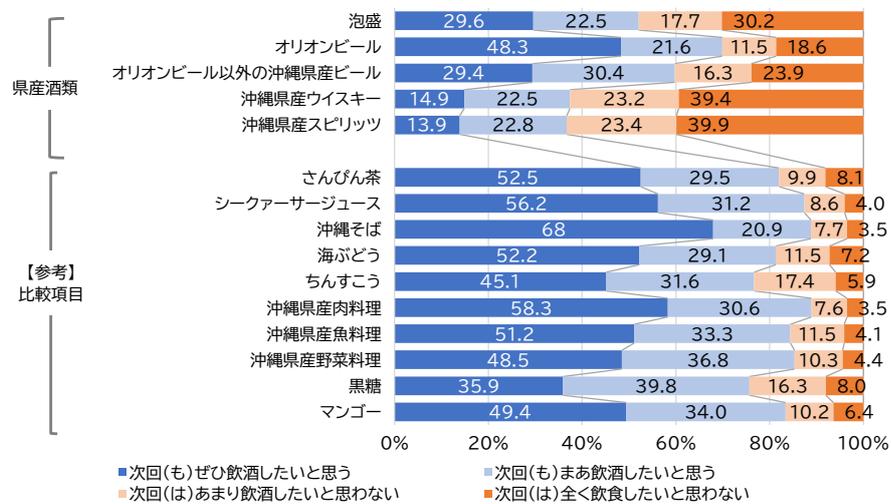


5. リピート率

次回沖縄観光時のリピート率(次回(も)ぜひ飲食したいと思う+次回(も)まあ飲食したいと思う)が最も高い項目は、「沖縄そば」(88.9%)、「沖縄県産肉料理」(88.9%)、次いで「シーカーサージュース」(87.4%)となった。

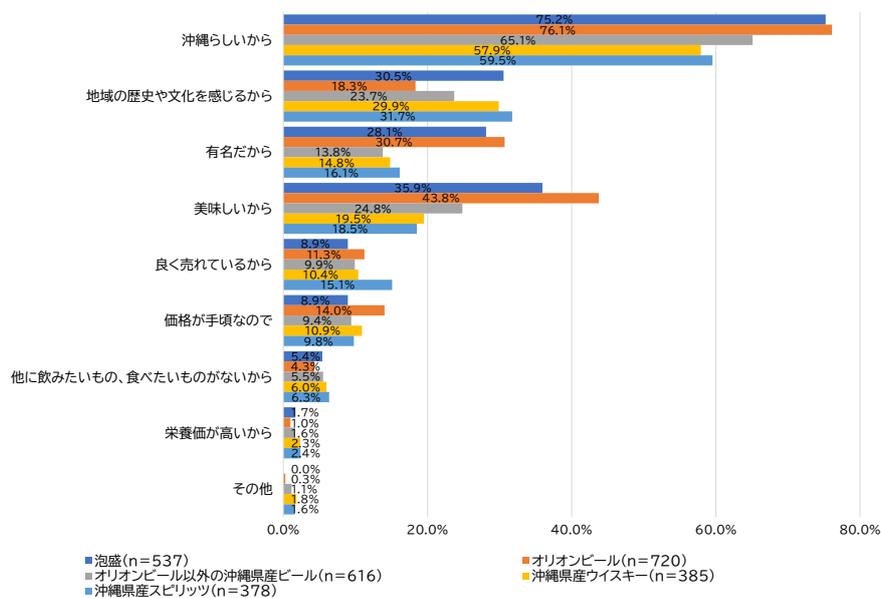
県産酒類では、「オリオンビール」69.9%、「オリオンビール以外の沖縄県産ビール」59.8%、「泡盛」52.1%、「沖縄県産ウイスキー」37.4%、「沖縄県産スピリッツ」36.7%となった。

[次回、沖縄旅行があった場合飲食したいと思うか(n=1,030)]



次回飲食したい理由としては、「沖縄らしいから」がどの酒類においても一番多い結果となった。

[次回飲食したい理由(複数回答)]

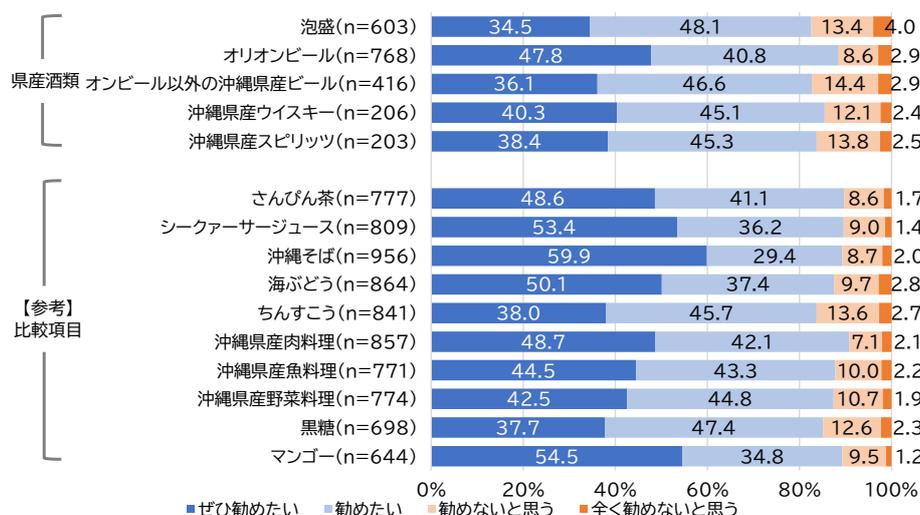


6. 推奨率

勧めたい(ぜひ勧めたい+勧めたい)との回答率が最も高い項目は、「沖縄県産肉料理」(90.8%)で、次いで「さんびん茶」(89.7%)、「シーカーサーージュース」(89.6%)となった。

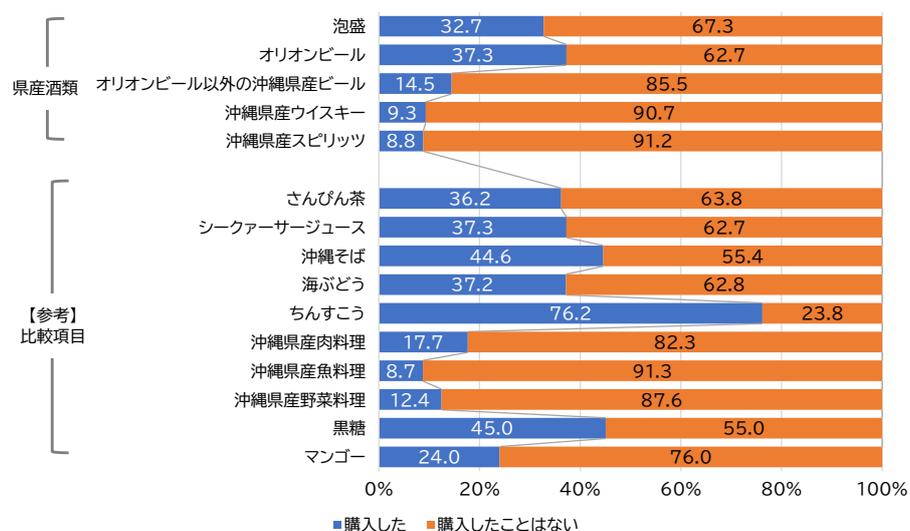
県産酒類では、「オリオンビール」が88.6%、「沖縄県産ウイスキー」85.4%、「沖縄県産スピリッツ」83.7%、「オリオンビール以外の沖縄県産ビール」82.7%、「泡盛」82.6%となった。

【推奨率(n=1,030)】



お土産購入率の最も高い項目は「ちんすこう」(76.2%)、次いで「黒糖」(45.0%)、「沖縄そば」(44.6%)となった。県産酒類については、1~4割となった。

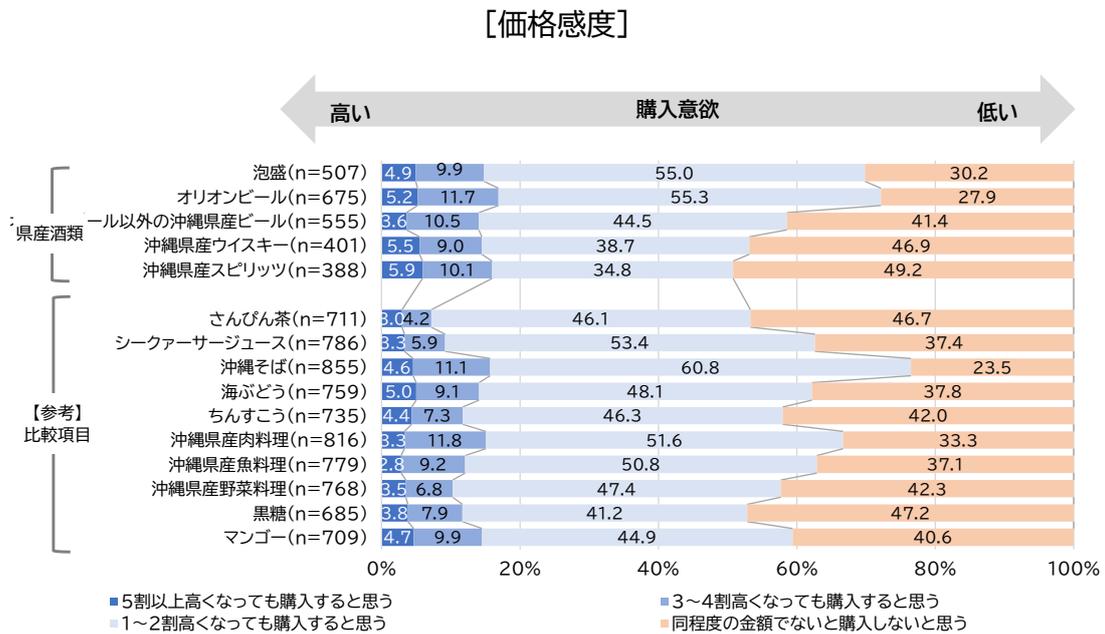
【お土産の購入有無(n=1,030)】



7. 価格感度

価格が上がっても購入したいと思うかの設問に対して、泡盛は「5割以上高くなっても購入すると思う」が 4.9%、「3～4割高くなっても購入すると思う」9.9%、「1～2割高くなっても購入すると思う」が 55.0%、「同程度の金額ではないと購入しないと思う」が 30.2%となった。

オリオンビールは「5割以上高くなっても購入すると思う」が 5.2%、「3～4割高くなっても購入すると思う」11.7%、「1～2割高くなっても購入すると思う」が 55.3%、「同程度の金額でない」と購入しないと思う」27.9%となった。



“沖縄の飲食店で利用する際の以下の価格帯についてそれぞれご記入ください”との質問を泡盛、オリオンビールそれぞれ聞き PSM 分析¹を行った。(※量や酒類の指定なし)

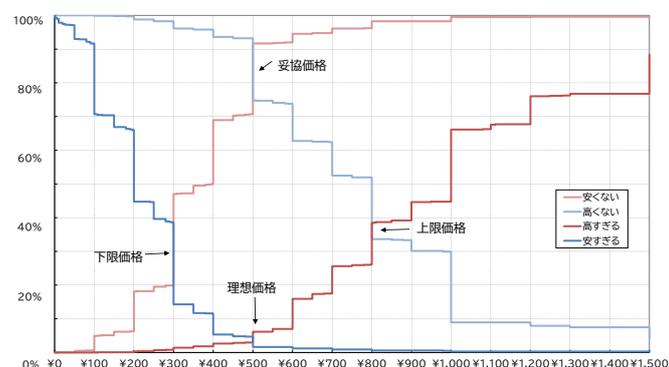
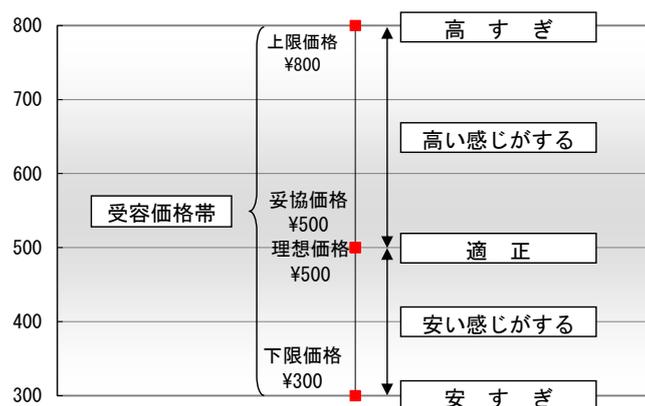
それぞれ、高いと思う金額、安いと思う金額、高すぎると思う金額、安すぎると思う金額を回答してもらい分析を行った結果が下記のとおりである。

泡盛は上限価格 800 円、妥協価格、理想価格 500 円、下限価格 300 円となり観光客の受容価格帯は 300～800 円となった。

[泡盛を沖縄の飲食店で利用する際の各価格帯(n=972)]

(単位:円)	中央値	最頻値	平均値
高いと思う金額	800	1,000	893
安いと思う金額	399	300	398
高すぎると思う金額	1,000	1,000	1,370
安すぎると思う金額	200	300	244

[泡盛の PSM 分析(n=972)]



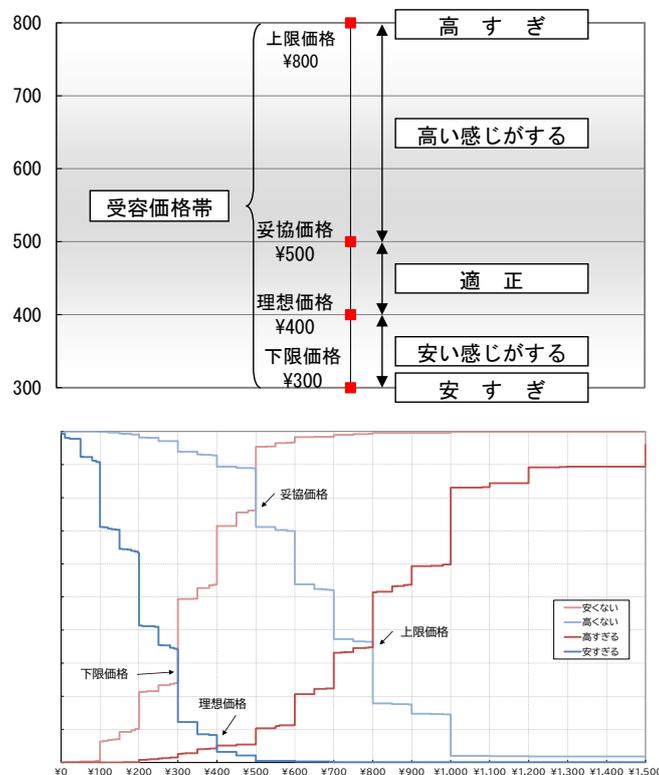
¹ 製品やサービスの適正価格を導くための分析手法

オリオンビールは上限価格 800 円、妥協価格500円、理想価格 400 円、下限価格 300 円となり観光客の受容価格帯は 300～800 円となった。

[オリオンビールを沖縄の飲食店で利用する際の各価格帯(n=998)]

(単位:円)	中央値	最頻値	平均値
高いと思う金額	700	800	787
安いと思う金額	359	300	360
高すぎると思う金額	800	1,000	1,430
安すぎると思う金額	200	300	222

[オリオンビールの PSM 分析(n=998)]



【参考】

価格の解釈		
上限価格	この価格を越えると「高すぎて買わない」という価格	「高すぎる」と「高くない」の交点
下限価格	この価格を下回ると「品質が不安」と不信感を抱く価格	「安すぎる」と「安くない」の交点
理想価格	価格に対する抵抗感が最も弱く、多くの人に受け入れられやすい価格	「高すぎる」と「安すぎる」の交点
妥協価格	「高い」とも「安い」とも感じにくい価格です。「この貴品ならこのくらいの価格」と消費者が感じている目安の価格	「高くない」と「安くない」の交点

(マクロミル HP より弊社作成)

8. その他

<企業ブランド認知について>

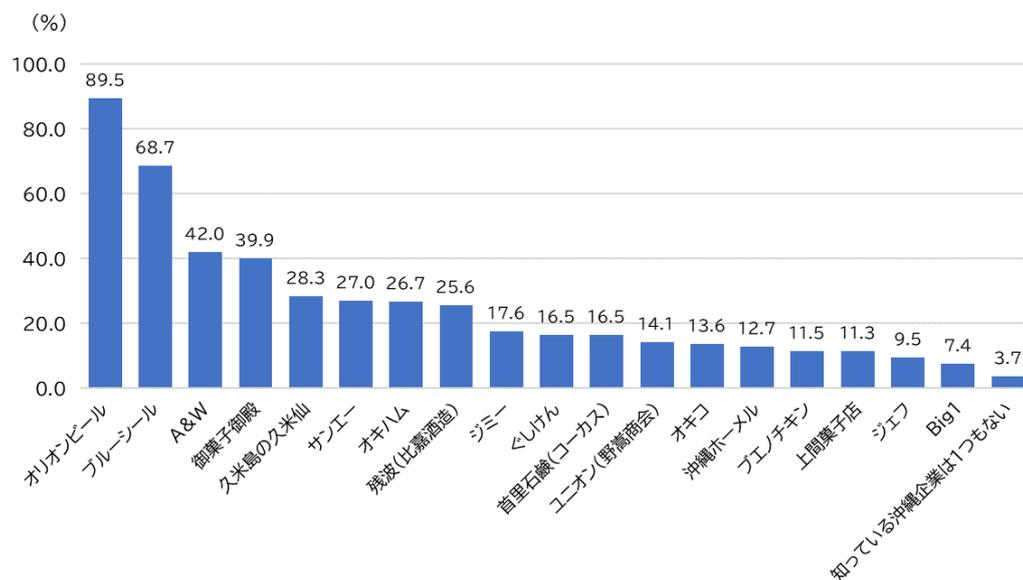
“あなたが、沖縄と聞いて連想するブランドは何ですか？(5つまで)”との設問では、【オリオンビール】、【オリオン】、【ORION】といった回答が最も多く319件となった。

〔沖縄と聞いて連想するブランド(自由回答)〕

		(件)
1位	オリオンビール	319
2位	美ら海水族館	159
3位	ちんすこう	102
4位	ブルーシール	98
5位	海(関連)	93

“あなたをご存知の沖縄企業として、あてはまるものを全てお選び下さい”との設問では、多い順に、「オリオンビール」が89.5%、「ブルーシール」が68.7%、「A&W」が42.0%、「御菓子御殿」が39.9%、「久米島の久米仙」が28.3%となった。

〔認知している沖縄の企業(複数回答)(n=1,030)〕

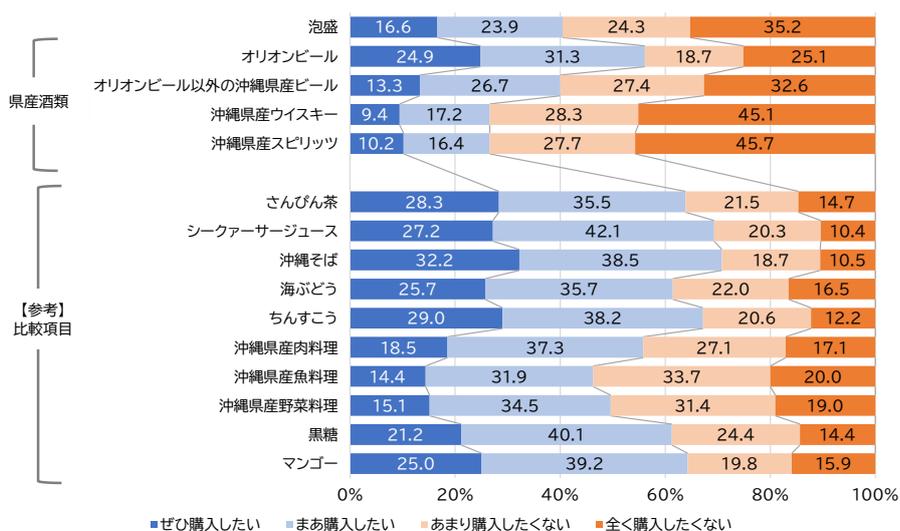


< 普段の生活・EC 購入について >

普段の生活で購入したいとの回答率が最も高い項目は、「沖縄そば」(70.7%)で、次いで「シークアースージュース」(69.3%)、「ちんすこう」(67.2%)となった。

県産酒類では、「オリオンビール」が 56.2%、「泡盛」40.5%、「オリオンビール以外の沖縄県産ビール」40.0%、「沖縄県産ウイスキー」26.6%、「沖縄県産スピリッツ」26.6%となった。

[普段の生活での購入意欲 (n=1,030)]



普段の生活でインターネット通販(EC 購買)を利用して購入した最も高い項目は「マンゴー」(14.9%)、次いで「沖縄そば」(14.8%)、「オリオンビール」(14.3%)となった。

県産酒類では、「泡盛」13.4%、「オリオンビール以外の沖縄県産ビール」10.1%、「沖縄県産ウイスキー」8.3%、「沖縄県産スピリッツ」7.3%となった。

[インターネット通販 (EC 購買) の有無 (n=1,030)]

